



誠心ファミリー

第17号

発行日 平成23年12月3日(土)
 発行者 誠心会会長 下岡千津子
 呉市本通6-2-23 ☎/FAX 0823-25-0460
 谷本誠一 E-mail:sss2001@nifty.com
<http://homepage2.nifty.com/ss2001/>

既成政党枠超え、「脱原発」を訴え



▲谷本誠一当選の瞬間(右は伊藤県議)

平成23年4月の呉市議会選挙において、私は過去最高の2420票のご支持を頂き、**4度目の当選**を果たすことができました。支援者の皆様に対し、この場をお借り致しまして心より御礼申し上げます。

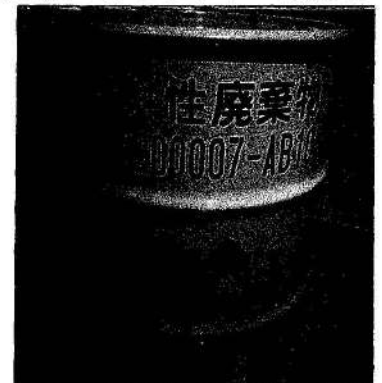
さて同年3月11日の**東日本大震災**とそれに伴う**福島第1原発**事故を受け、これらの不幸を逆手に、人身の指向が公的精神へと回帰する絶好のチャンスに転換しなければならないと、痛感しております。

改選後初の6月定例会には、市民団体から「原発推進政策の抜本見直しと再生可能な自然エネルギーへの転換を求める請願」が提出されました。共産党が紹介議員になっているとの理由で、不採択の動き

が濃厚だったのを、私はこれを継続審査に持ち込むことで何とか食い止めようと水面下での動きを致しました。その結果その代替策として9月定例会には、所属会派の力を借り、「**原発の安全確保とエネルギー政策の検討を求める意見書**」を賛成多数で可決することに成功しました。

それを受け9月29日には、我が国原子力政策の中枢を担う六ヶ所村と原燃PRセンターを視察し、低レベル**放射性廃棄物**が全国の原子力発電所から集められ、40万本近くのドラム缶で廃棄されている現状を目の当たりに勉強した次第です。

しかしながら、意見書採択はあくまで妥協の産物であり、既成政党の枠組みを超え、「**脱原発**」を勇気を出して訴えることが重要と考えます。大阪府知事・市長ダブル選挙で明らかになったように、民意は指導力ある改革を求めているのです。既得権益にとらわれず、選挙目当てでもない、市民本位の政治を目指します。



▲六ヶ所村の放射性廃棄物

22年度、監査委員としてフル回転

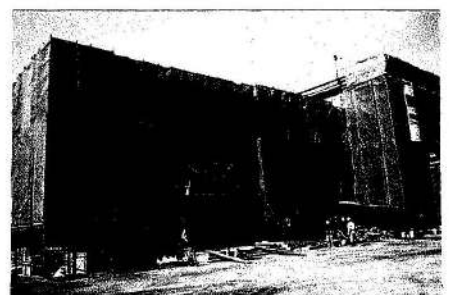


▲監査事務局自席での谷本監査委員

谷本議員は平成22年6月定例会にて、呉市長より議事を代表して**監査委員**に任命されました。監査委員とは、呉市の収納事務や経理が適性に行われているか、予算が適性に執行されているか、公共工事が設計通りに進められているか、不正はないか等を監査する責務と権限が付与され、公認会計士も委員に入っています。

同年12月2日の西日本都市監査事務研

修会に、谷本委員は呉市を代表して出席し、講師である総務省監査専門官に対し質疑。議員の第2報酬たる**政務調査費**の使途における全国統一基準を作らないのは総務省の怠慢で、そのため自治体毎の監査に差が出る問題点を指摘しました。



▲工事監査した音戸北部浄化C

一般質問 業務委託の民営化計画策定を促す！

谷本議員は平成23年6月20日、改選後初の一般質問を所属会派を代表して行いました。質問項目は次の4点です。①官から民への構造改革の展望②介護予防の拡充策③生活排水処理の方向性④市民協働による動物愛護施策—特に①の構造改革では、本年度中に**現業部門の民間委託化計画**をまとめるとの答弁を引き出しました。



▲本会議場で質問する谷本議員

谷本議員は、家庭ごみ収集業務、学校給食調理業務、保育所給食調理業務において、嘱託や再任用職員の活用がネックとなり民間委託が一向に進んでいない状況を糺しました。ごみ収集業務では民間なら2人役で済むところを3人役で車両に乗り込んでいる問題、学校給食では夏休みや春休みでも職員給与を払わなければならない分、税金の無駄が生じているのではないかと指摘しました。

これを受け同年12月定例会には、学校給食民間委託校を追加する補正予算が市当局から提案されました。

アニマルパークの犬猫入所情報の提供が実現！

6月定例会の一般質問で谷本議員は、犬猫譲渡率日本一を誇る熊本市の「ハローアニマルくまもと市」を視察した上で、動物愛護団体やペットショップ、獣医師、動物愛護推進員、公募市民、行政とで組織する**呉市版動物愛護推進協議会**の起ち上げを提案しました。現在は県の協議会に呉市が参画しているだけで、地域性に合致した詳細な部分で政策立案することができないとみた訳です。

呉市はボランティア団体との連携が既にできているので、現時点での設置は考えていないとのことでした。

また谷本委員は、くれアニマルパークが独自のホームページを起ち上げ、**犬猫の入所情報**を逐一市民に提供する手法を提唱。そこで市はその1週間後に、暫定的に保健所ホームページに犬猫データの広報を開始しました。これにより、すぐ市民から問い合わせがあり、子犬の譲渡が決まりました。



▲熊本市の動物愛護センター

谷本提案により、呉市防災計画にペット対策！



▲呉市防災計画改定

谷本議員が平成20年度予算審議の際要望していた災害時のペット対策が、平成22年5月発行の**呉市地域防災計画**に初めて盛り込まれました。これを受けて呉市は、**避難所開設マニュアル**への具体化を検討します。

また平成23年11月半ばに谷本議員は、呉市消防局に対し、**アマチュア無線協会**と災害時の協定を締結した上で、会員名簿を各自治会長に配布し、平時から非常時の通信手段において連携を取ることの重要性を指摘。当局としては、そのような方向性で進めることになりました。

その他谷本議員は、水道管破裂事故等で断水になった際の**トイレ水洗用給水**の確保策や、**アレルギー対応食品の備蓄**、若しくは同関連業界との協定を視野に、様々な視点から当局に要望しています。

豊町沖友に公衆トイレ開設へ

谷本議員は地元要望を受け、豊町沖友地区への**公衆トイレ**開設提案を行い、平成23年11月、近々実現する運びとなりました。公園のない同地区に、旧沖友小学校で現**豊スポーツセンター**の1階トイレを活用する策で、駐車場付きとなります。



▲豊スポーツセンター

谷本議員が会派を代表し政策研究会委員に就任 議会報告会の説明文書を作成し、答弁役に徹す



▲市民の質問に答弁する谷本委員

谷本議員は平成23年6月定例会に初めて設置された**政策研究会**の委員に、所属会派を代表して就任しました。政策研究会は**議会基本条例**を根拠に、議会内に政策立案機能を持たせ、意見書の取り扱いの調整や、市民に広報する手段としての議会報告会の説明文書を作成したりすることが主な役目です。言わば議会の政務調査機関と言っても過言ではありません。

その**議会報告会**。平成23年度は本格実施の初年度に当たり、テーマ設定において**市役所新庁舎建設**の他、谷本委員の提案で、**交通局民営化**が採用されました。

交通局民営化は、谷本議員が初当選した平成7年、9月定例会での初の一般質問で採り上げ、主張し続けた重要なテーマであり、その甲斐あって平成24年4月から広島電鉄に一括移譲することが固まっています。報告用説明文書の原案作成に当たり、一部を谷本委員も担当しました。

議会報告会は11月に市内16ヶ所できめ細かく開催。各常任委員会が4会場を担当することとなり、谷本議員は**民生委員会委員**として天応、吉浦、中央、宮原と4地区を回りました。

各常任委員会で委員長が司会役を務め、谷本委員は政策委員でもあることから、交通局民営化に係る市民からの質問に答える役回りを仰せつかりました。どのような質問が出てても的確に答弁する力量が求められるこの役ではありましたが、谷本委員は民営化に対し強固に反対する意見にもきちっと明確に答弁しました。

尚この模様は、**呉市議会ホームページ**で録画中継されることになっています。

〔23年度〕谷本提案の防犯灯LED化に3億円！

平成23年3月定例会において、過去谷本議員が要望して来たことが次々と実現の見通しとなりました。

その第一は23年度予算において、自治会防犯灯の**LED**（発光ダイオード）化の推進策として**1億円**（2年間で**3億円**）が組まれました。これは平成22年3月に谷本議員が予算委員会で提唱したもので、従来の蛍光灯タイプから地球環境に配慮したLEDタイプに改修することで、管球の高寿命化と共に電気代がかなり安価になります。自治会における防犯灯維持管理経費の節減が図られ、二酸化炭素の排出量も削減でき、**地球温暖化防止**に一役買うこととなります。

第二は、**家庭ごみ収集業務**において、22年度から**不燃ごみ**に限り一部狭隘道路を除き試験的に、これまでの収集車両**3人体制**を**2人体制**にしていたが、23年度からはこれを**可燃ごみ**にも対象を拡大します。3月3日の谷本議員が委員を務める民生委員会で明らかになりました。

第三は、平成25年1月オープン予定の**天応市民センター**総事業費、2ヶ年で5億6千万円の予算中に、**太陽光発電設備**が含まれることになりました。21年3月の予算委で要望していました。

第四は、建設工事と建設コンサルタント業務について、これまでの公募型及び受注希望型**指名競争入札**を廃し、23年度から原則条件付き**一般競争入札**を導入することになりました。市内業者等に限定するとか、ランク指定をすることで、あくまで地元企業育成の観点は継続されま。一般競争入札となれば誰でも応札でき、競争性が高まり、**談合防止**に役立ちます。

地方自治法施行令では、公共事業は原則一般競争入札となっており、事由が認められる時に例外として指名競争入札が適用されるものとされており。呉市は指名競争入札が殆どで、大規模事業しか一般競争入札されておらず、谷本議員が監査委員時代に指摘していました。

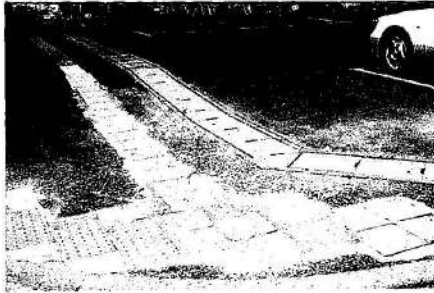
第五に、**公立下蒲刈病院**の患者送り用車両運転手の人件費を**病院企業会計**に計上せず、**一般会計**でみていたのを、谷本議員が監査委員の時に好ましくないと指摘していました。**地方公営企業法**によって、公立病院は**独立採算**を原則としており、一般会計、即ち市民の血税を充てるのはできるだけ避けなければならないからです。その結果、23年度予算では運転手の人件費を病院企業会計に支出計上することになりました。

〔平成22年度〕谷本誠一、地域の細部迄要望を実現

① 広古新開の幹線歩道石畳を修復

H22. 8月中旬

広市民センターから広島国際大学に向かう歩道の10数カ所で石畳が破損していたのを修復。



② 県道呉平谷線・側溝の一部を浚渫

H22. 8月

県道呉平谷線の内、焼山側の一部側溝を例年の草刈りに合わせ、堆積落ち葉や土砂を浚渫。



③ すこやかセンターくれ前交差点を改良

H22. 9/2

市役所からすこやかセンターへの直進と四ツ道路への右折レーンを新設し、交通規制を変更。



④ 大谷川河口に黒瀬川合流水路を建設

H22. 11月初旬

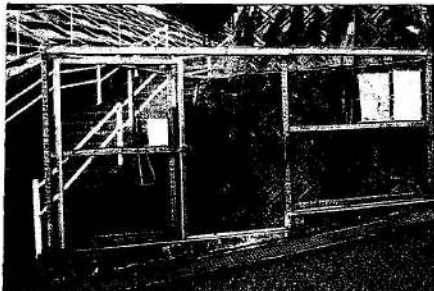
郷原の大谷川から黒瀬川に合流する際に水路が不明確だったので、水害に繋がりが易かった。



⑤ 県営銅山住宅ごみステーションを改修

H22. 12月初旬

警固屋1丁目の県営住宅内のごみステーションは県有施設だが、呉市補助金を適用して改修。



⑥ 安浦日の浦トンネル出口の県道を舗装

H22. 12月

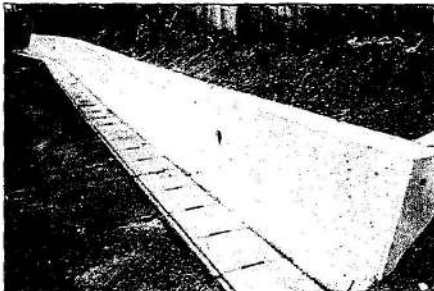
グリーンピアへ向かう隧道出口の県道地下から溢水していたのを、防止策として舗装した。



⑦ 焼山桜ヶ丘の県歩道法面を追加築造

H23. 2月末

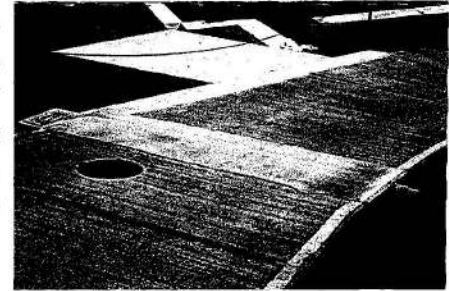
県道呉平谷線の桜ヶ丘団地側歩道の団地側壁面崩落防止策として、法面を追加的に築造した。



⑧ 警固屋9丁目市道に横断側溝を設置

H23. 3月初旬

長郷小学校解体後の雨水排水対策で、市道に横断側溝を新設し、隣接の水路へ放流が可能に。



⑨ 呉共済病院バス停に上屋を新設

H23. 3/7~14

呉共済病院バス停には上屋がなかったため、新設することで特に通院高齢者に朗報となった。



⑩ 東鹿田地区で急傾斜地崩壊対策工事

H23. 3月

東鹿田町1班の地区で、新たに危険区域指定した上で市施工による法面築造工事を行った。

